入院のご案内

この入院案内は本院に入院される場合の手続きや、
入院中の生活に必要なことについて記載してあります。
入院中にも使用いたしますので、

入院時、必ず本誌をお持ちください。

OITA UNIVERSITY

大分大学医学部附属病院
OITA UNIVERSITY HOSPITAL

もくじ

●本院の理念と基本方針 …… 3

●患者さんの権利・こどもの患者さんの権利 …… 4

●患者さんに守っていただくこと …… 5

●診療体制・看護体制 …… 6

●入院までの流れ …… 7

●入院病棟について …… 7

●入院の手続き …… 8

●入院中の過ごし方・お願い …… 9

転倒・転落予防 …… 13

ベッド周囲の環境 …… 14

感染予防 …… 15

●入院計算・各種料金・お支払い …… 17

●病棟設備 …… 21

●病棟以外の施設 …… 24

●がん相談支援センターのご案内 …… 25

●施設の紹介 …… 26

本院は患者さんの権利を尊重し、患者さんの医療への主体的参加を支援します

理　念

本院は、
「患者本位の最良の医療」を基本理念とする。さらに、豊かな人間性と高い倫理観を備えた医療人を育成し、先端医療の開発と安心・安全な医療の提供をとおして、地域社会の福祉に貢献する。

基本方針

本院は、

一、患者本位の医療を実践する。
一、医療の質及び安全性の向上に努める。
一、医学、医療の発展と地域医療の向上に寄与する。
一、教育、研究、研修の充実を図る。
一、病院の管理・運営の合理化を推進する。

患者さんの権利

- 個人の尊厳が尊重され、良質な医療を公平に受けることができます。
- 病気、検査、治療などについて、十分な説明を受け、理解した後、治療方法などを自らの意思で同意又は拒否を選択することができます。
- 自分の診療記録について、本院の規則に則って情報の提供を求めることができます。
- 診療における個人情報が守られ、プライバシーが最大限尊重されます。
- 教育実習及び研究の協力者となることを断ることができます。
- 医療行為の選択にあたっては、他の医療機関を選択することができます。
- 診断や治療方法について、他の医療者の意見（セカンドオピニオン）を求めることができます。
- 身体の不自由な方、外国人の方にも、できる限りの支援をいたします。

こどもの患者さんの権利

この病院で医療（身体と心の健康を守るためのお手伝い）を受けるすべてのこどもたちが、当たり前にもっていて、求めることができるもの（権利）をお知らせします。

- みなさんは、人として大切にされます。
- みなさんは、一番よいと考えられる医療を受けることができます。
- みなさんは、安心・安全な場所で医療を受けることができます。
- みなさんは、大切な人と一緒に医療を受けることができます。
- みなさんは、自分が受ける医療のことについて、わかりやすく教えてもらうことができます。
- みなさんは、自分の気持ちを伝えたり、方法を選んだりできます。
- みなさんは、差別や、身体と心を傷つけられることから守られます。
- みなさんは、ほかの人に知られたくない秘密は守られます。
- みなさんは、病院にいても遊んだり、勉強したりすることができます。
- みなさんは、将来にわたって、身体と心の健康を支えてもらうことができます。

患者さんに守っていただくこと

- 良質な医療を実現するため、医療従事者に対し、患者さん自身の健康の情報を詳しく正確に伝えてください。
- 納得できる医療を受けるために、検査や治療の内容を十分理解し、不明な点については十分質問し、合意の上でお受けください。
- 病院の敷地内での喫煙は禁止しています。入院患者さんは敷地内・外を問わず禁煙です。
- 飲酒や他の方への迷惑行為は、禁止しています。
- 迷惑行為（暴力、暴言、セクシャルハラスメント、ストーカー行為など）があった場合は、警察に通報することがあります。
- 病院内での許可のない録音･録画･写真撮影は個人情報保護の観点から禁止しています。
- 携帯電話の使用制限をしている場所での使用は、ご遠慮ください。
- 病院内の設備や備品を破損、紛失などの場合は、弁償していただくことがあります。
- 医療費の支払請求を受けた場合は、速やかにお支払いください。
- 盗難防止のため多額の現金や貴重品は、持ち込まないようお願いします。
- 原則として電気製品は、持ち込まないようお願いします。

※患者さんに守っていただくことに書かれている約束事を万一お守りいただけない場合には、退院措置を講じさせていただくことがございます。

患者さんへお願い

1．本院は、医学部附属病院の使命として、卒後臨床研修医、医学生、高度な専門性を有する看護職、看護学生、薬学生の教育、さらに先端医療の開発・研究や創薬などの医療の向上に努めています。患者の皆様にはこの趣旨をご理解の上、ご協力をお願いします。

2．**病状の説明や手術・処置の説明は原則、勤務時間内（平日 8：30 ～ 17:15）に行います**ので、ご協力をお願いします。ただし診療等の関係や緊急事態の場合はこの限りではありません。

なお、医療従事者からの同じ説明やご相談は可能な限り複数回行わない設定とさせて頂きますが、説明した内容が十分にご理解いただけていない場合等は、ご遠慮なくご質問下さい。

3．**土日、祝日、平日夜間は、当直・当番医師が主治医に代わり責任を持って対応します**ので、ご理解をお願いします。必要に応じて、主治医と連絡を取りながら適切な診療を行いますのでご安心ください。

※２及び３については、**医師に対する時間外労働の上限規制の適用開始（令和６年４月）**に伴いお願いする事項です。これは、医師の健康を維持し、疲労による医療事故の発生を防ぎ、安全な医療を提供するためのものですので、何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

診療体制

診 療 方 針

医師が行う医療上の判断は強制的なものでなく、自らの知識と良心に基づき、患者さんに対して最良の医療を提供することを目標としています。

医師による診療体制

主治医、担当医は、診療科全体で協力して患者さんの診療に当たります。診療科長は週１回程度の回診を行い、診療科の全入院患者さんについて個々の医師の診療状況を把握し助言・指導を行います。

研修医が担当医として診療に参加するときは、指導医の下で診療行為を行います。

主治医および担当医は担当患者を診察して日々の病状の変化を把握し、患者さんの要望、訴えを聞き、これらに誠実に応えます。

また医師は、患者さんに質の高い医療を提供するために、多職種と協力して適宜対応して、その結果を共有します。

主治医、担当医が不在の時は、病棟医長を中心に、診療科全体で協力して病棟における診療活動が円滑に行われるようにします。

看護体制

看護部は、患者さんの意思を尊重するために、患者さんやご家族と相談の上、「看護計画」を立ててケアを提供しています。

病棟では、２名の看護師が「受持ち看護師」として、入院から退院まで患者さんを担当します。交代制勤務のため、受持ち看護師が不在の場合も、患者さんのケアが継続して提供されるように、情報共有しています。

患者さんの健康回復や療養生活上の問題解決のため、入院前から退院後の生活を視野に入れた支援を行っています。気がかりなこと、困ったことなど、遠慮なく看護師にご相談ください。

看護部の理念

私たちは、深い関心と確かな技で「その人らしく生きる」を支える看護を提供します

看護部の方針

1. 倫理観に基づいた患者中心の看護を提供する
2. 先端医療に対応した専門的な知識と技能で質の高い看護を提供する
3. 挑戦する精神を持ち続け、看護を創造し、探求する
4. 相互理解により、多職種と協働した医療を提供する
5. 地域と連携し、看護の質向上に貢献する

●看護師特定行為

看護師特定行為とは、看護師が行うには難易度が高いとされていた医療行為について、研修を受講した看護師が実施できる診療の補助行為として、新たに位置づけられました。

厚生労働大臣が指定した研修機関による研修を受講し、特定行為ごとに修了認定を受け、医師の指示としてあらかじめ作成した手順書に基づいて特定行為を実施します。

当院では、特定行為を安全に実施する体制を整備し、看護師特定行為を実施しています。

看護師特定行為研修修了者を「特定看護師」と呼称し、患者さんや他の医療従事者から確認できるように、「特定看護師」のバッチを装着しています。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

入院までの流れ

入院予約から入院当日までは次のとおりです。

入院前

外来　入院予約

外来で医師が、入院予約を行います。

↓

総合患者支援センター

入院のオリエンテーションを行います。
入院に際して必要な情報をお聞きします。
入院に必要な書類を受け取ってお帰りください。
有料個室入室希望の場合はお伝えください。

入院待ち

入院連絡

総合患者支援センターより、入院日が決まり次第、電話連絡があります。

入院予定診療科	科
入院予定日時	令和　年　月　日(　)　時　分

※連絡がありましたらご記入ください

↓

入院当日

入院受付

10：30までに入院受付にお越しください。
入院手続き後、入院病棟をご案内します。
※入院時刻の指定がある場合は、その時刻に合わせて手続きしてください。

↓

病棟へ入院

※ご都合により入院日の変更、取り消しをされる方は、お早めに総合患者支援センターへご連絡ください。

入院病棟について

当院では、より多くの患者さんを早期に受け入れるため、空いている病床を効率的に使用するようにしています。
入院病棟が、入院ごとに変わる場合もありますので、ご了承ください。

入院の手続き

入院に必要な書類

入院の準備の際に☑はチェック欄としてご使用ください。

入院される全ての方にお持ちいただく物

- □ 診察券
- □ 入院誓約書（継続入院誓約書）
- □ 入院受付票
- □ お見舞い案内申し込み票
- □ 保険証またはマイナ保険証
- □ 印鑑
- □ 病衣（寝間着）貸与申込票

該当される方のみお持ちいただく物

- □ 子ども医療費受給資格者証（高校生以下の方）
- □ 限度額適用認定証　※入院前に手続きをしてください
- □ 高齢者受給者証（70～74 歳の方）
- □ 後期高齢者医療被保険者証（75 歳以上の方）
- □ 指定難病等の公費医療受給者証
- □ 障がい者医療証（重度心身障がい者医療費受給者証）
- □ 介護保険証
- □ 減額認定証（食事の負担額の減額・市町村民税非課税世帯の方）
- □ 退院証明書（直近３ヶ月以内に同一傷病名による他病院に入院歴がある場合）
- □ 緩和ケア一次スクリーニングシート（対象の方のみ配布しています）
- □ 自己負担上限管理票（対象の方のみ）

以下の方は入院受付にお伝えください

- 医療扶助・育成医療・更生医療・小児慢性特定疾患など、公費負担の医療制度を受けられる方。
- 勤務中の負傷（労災・公務災害）や交通事故・第三者行為で入院の方。
- 保険証の提示のない場合は、入院費は、自己負担となる場合もあります。
- 入院中に住所・電話番号・保険証の内容など変更が生じた時。

長期入院の方は、２ヶ月ごとに保険証を確認いたします。

入院するときにお持ちいただく物

※お荷物はロッカーに収納出来る範囲でお願いします。

- □「入院のご案内」の冊子
- □ 現在服用されているお薬（使用されている市販のお薬・栄養食品〔サプリメント〕含む）
- □ お薬手帳やお薬説明書などお薬の内容がわかるもの
- □ 洗面・入浴用具（石鹸・シャンプー・歯磨きセット・ひげ剃り〔必要な方〕・くし等）
- □ 下着類（おむつ使用の方は、定額制の紙おむつをご利用可能です）
- □ 寝間着（病院で貸し出しあり　1 日 84 円）
- □ 入れ歯をご使用の方は入れ歯専用容器
- □ ティッシュペーパー
- □ テレビ用イヤホン（院内売店にあり）
- □ はし・スプーン・湯呑みなど
- □ タオル・バスタオル
- □ 室内履物（すべりにくい靴タイプのもの）

入院前の準備として注意していただくこと

マニキュアやジェルネイル・付け爪は、診察や処置、観察の妨げとなるため、入院する前に手足すべて除去してから来院ください。

入院中の過ごし方・お願い

日課について

6時起床 ▶ 8時朝食 ▶ 12時昼食 ▶ 18時夕食 ▶ 22時消灯

週間予定について

（病棟、診療等）　　階　　（西・東・新）

		月	火	水	木	金	土	日	備　考
回　診	午　前								
	午　後								
病衣交換	7～9月	●		●		●			
	10～6月		●			●			
浴　室	～　時								
シャワー室	～　時								
シーツ交換									

- 回診日は必ず病室でお待ちください。
- 検温、体重測定、血圧測定、排尿・排便回数聴取等を適宜行います。実施日時は各病棟によって異なります。
- 22時以降の点灯等は、他の患者さんのご迷惑にならないようご配慮ください。
- 外出・外泊をする場合は、医師・看護師長による外出・外泊許可証が必要です。
- ベッド、病棟移動について
  本院は、特定機能病院及び高度救命救急センターに指定されており、役割上、常時緊急の患者さんに対応しています。その為病棟の重症患者さんや緊急入院に対応するため、急な部屋移動や病棟移動をお願いすることもあります。ご理解とご協力をお願いいたします。
- 急性期病院のため、病状に合わせて早期からの退院支援を行います。

特に注意していただくこと

★盗難が発生しております。貴重品等の保管に十分ご注意願います。
★入院中は、化粧や増毛パウダーの使用をお控えください。

上記のほか、ご不明な点は、スタッフステーションでお尋ねください。

●患者参加による安全管理

安全で安心な医療を提供するために、患者さんご自身に積極的な医療安全への参加をお願いしています。患者さんに医療安全への理解を深めていただき、医療者と一緒に実践することで、医療に関連した事故等を防いでいきたいと考えています。

●名前の確認とリストバンド

- リストバンドは常時装着をお願いします。
  外泊・外出時には外すことができます。外した際には、新しいリストバンドが発行されるまで手元に保管してください。
- 診察や検査、お薬をお渡しする時は、ご自身の名前（姓・名）、生年月日をはっきり伝えてください。
- 点滴ラベルや食事の名札などに書いてあるご自身の名前（姓・名）を確かめましょう。

●所在の確認

- 災害時等の安全確認のために、患者さんが、検査や手術等で病棟を離れる時、病棟に戻ってきた時、検査等に到着した時、退室する時に、それぞれの場所でリストバンドからバーコードを登録させていただきます。
- 散歩や買い物で病棟を離れる時は、バーコード登録は行いません。医療スタッフに声をかけてからお出かけください。

●お薬

- 全病棟に薬剤師を配置しており、入院時に持参されたお薬を確認します。
- 薬を受け取った時は、薬袋に書かれた自分の名前、薬の飲み方、内服時間、注意事項を確認してください。
- 薬についての疑問はすぐに医師、薬剤師、看護師に確認し、飲む前に解消しましょう。

●転倒・転落予防（P13 ～ 14）

●アレルギー

- 薬や食品のアレルギーについて医師、薬剤師、看護師に伝えてください。

●ナースコール

- それぞれのベッドにナースコールがあります。
  コールを押した場合は、昼間は看護師が声を出して応答しますが夜間は返答せず、すぐに訪室します。
- 患者さんの声は受けた看護師にしか聞こえないようになっていますのでご安心ください。
- ナースコールは、ベッド柵か枕元につけてご利用ください。

●食事

- 食事時間：朝食８時、昼食12時、夕食18時です。
- 主食は食事の種類によっては、パンまたはごはんを選択できますが、患者さんの状況（嚥下機能、咀嚼力、食形態、主治医の指示など）によって制限される場合がありますので、予めご了承ください。

●選択メニューについて

●実施日：毎週木曜日・金曜日の昼食・夕食　●選択できる食種：常食Ａ・Ｂ・Ｃ
基本食、選択メニュー食の２つのメニューから選択出来ます。選択されない方は基本食になります。なお、選択メニュー食を選んだ場合には、１食につき31円別途料金をいただきますので、あらかじめご了承ください。

●アレルギー食の対応について

食物アレルギーについては、入院前または、入院後に医師または看護師に伝えてください。
個別対応致します。

- 締め切り時間後の急な外出・外泊等による欠食につきましては、料金のご負担が発生しますのでご了承ください。　●食事の締め切り時間（朝食：前日の16時、昼食：10時、夕食：15時）
- 食事の自己負担額は、一般の患者さんの場合１食につき510円です。

栄養相談

- 本院では、病気に応じた栄養相談を行っています。入院中または、退院後の食事療法に関してご希望がございましたら、主治医あるいは看護師に伝えてください。
  栄養相談は、完全予約制となっております。

院内における携帯電話の取扱い

- 許可区域外の病院内での通話は原則禁止しております。
- 院内の定められた場所でのみ通話を認めて表示（右図）をしています。許可区域におきましても、周りの患者さんのご迷惑にならないように以下の注意事項を必ずお守りくださいますようお願い致します。

注意事項

- 常時、マナーモードに設定し、着信音が鳴らないようにしてください。
- 場合によっては、本院職員が使用中止を指示することがありますので従ってください。
- 一般社会通念上のマナーを守り、他の患者さんのご迷惑にならないようにしてください。
- **注意事項に反した場合は、携帯電話の持込みを禁止させていただく場合があります。**

【許可区域】

❶ 各病棟の食堂･面会室　❷ 有料個室　❸ 家族待機室（3階）　❹ レストラン（2階）
❺ イートインスペース（2階）　❻ コーヒーショップ（1階）

外来駐車場の利用

- 入院患者さん…原則として入院期間中の駐車をお断りしています。

例　外

入院期間中の駐車がやむを得ないと認められる場合は、駐車を許可する場合がありますので病棟スタッフにお申し出ください。この場合、「入院患者許可証」を発行し、退院時に次のとおり駐車料金を精算していただきます。
1日 500円 × 駐車日数分（「身体障害者手帳」所持による割引はありません）

外来患者さんやお見舞いの方が駐車場を利用する場合の料金

利用者	駐車料金	「身体障害者手帳」を所持している方
外来患者さん	30分まで無料	病院入口の総合案内カウンターにおいて、手続を行っていただいた場合は無料
	1日100円	
お見舞いの方	30分まで無料	
	最初の3時間まで100円、以後1時間増す毎に100円	
	1日最大700円	

面会

- 風邪やインフルエンザ、感染性胃腸炎（下痢など）の症状がある場合の面会は固くお断りします。面会の前と後には、病室の入り口に設置している消毒剤で手の消毒を行いましょう。また、小さいお子様のご面会はご遠慮ください。
- 新型コロナウイルス感染症対策として、入院中の患者さんへの面会は、一部制限とさせていただいています。詳細は病棟スタッフにお尋ねください。
- 面会の際は、総合案内および時間外出入り口において、面会申込書への記入をお願いします。
- 発熱、咳などの症状がある場合等は、面会できません。
- オンライン面会を行っております。ご希望の場合は病棟スタッフにお伝えください。

付添い

- 入院中のお世話は、看護師がいたしますので、付添いは必要ありません。ただし、病状によって、担当医と病棟師長が必要と認めた場合は、家族の方の付添いができます。

防犯カメラ

- 本院では、防犯カメラを院内各所に設置してありますが、これは安全管理及び防犯のために設置しているものですので、ご了承願います。

緊急院内放送

- 本院は、特定機能病院の特殊性から、重篤な患者さんや多臓器に疾患のある患者さんが入院されています。
  これらの患者さんを含め、入院患者さんの生命に係る緊急事態が発生した際には、夜間･早朝でも、病院スタッフ招集のための全館放送を行い、病院全体での対応を行う場合がありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

入院中の他院への受診

- 本院に入院している期間は、他の病院を受診することが保険診療の規則で認められない場合があり、健康保険証が使えません。これについては、患者さん本人だけでなく、ご家族の方が代理で行くことも同様です。どうしても他院を受診する場合は、その理由を医師または看護師にお伝えください。

多様な性について

- 入院にあたり、LGBTQをはじめ多用な性的指向や性自認に関するお悩み事がある方は、スタッフまでご相談ください。

転倒・転落予防

入院中は環境の変化や筋力・体力の低下から、予想以上に転びやすい状況になります。
病院の床は自宅と比べて硬いので転倒・転落をすると怪我や骨折につながり、本来の治療に影響することがあります。
予防策を看護師と一緒に考え、安心で安全な入院生活を送りましょう。
歩行や移動で同伴が必要な時は、いつでも看護師にご相談ください。

●スリッパ、サンダルは脱げ易いのでやめましょう。

●ベッドから立ち上がる際は安定したものを支えにしましょう。

●必要時安定した補助具を使用しましょう。(例:杖、歩行器など)

●ふらつくような薬を飲んだときは、転倒に注意しましょう。

※床に水やお茶などをこぼした場合、すべる原因となります。
　すぐにこぼれたものを除去しなければなりませんので、スタッフにお知らせください。

安全な「はきもの」を選びましょう

病院の床はかたくすべりやすいので、ヒールがなく滑り止めの工夫がされた靴の使用をおすすめします。
病院の売店で購入出来ます。

安全な「履き方」をしましょう

●靴のかかと、ズボンの裾を踏まないようにしましょう。

●つま先が覆われている靴を履きましょう。

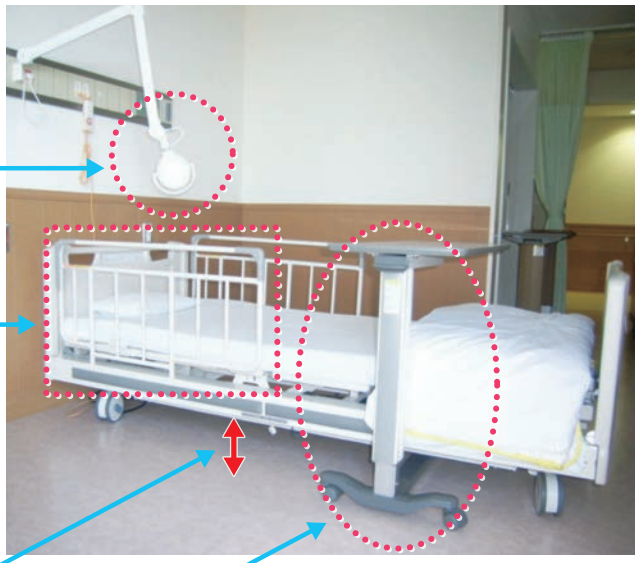
ベッド周囲の環境

読書灯

- ベッドから降りるときは足元に気をつけましょう。
- 夜間は暗いため読書灯をつけて行動しましょう。

ベッド柵

- ベッド柵は両側につけましょう。



ベッドの高さ

- ベッドの高さは座ったときに足が床に着く高さに調節しましょう。

オーバーテーブル

- オーバーテーブルは**ロックがありません。**体重をかけて支えにすると滑って転倒する危険があります。

ベッド柵の使用について
ベッド柵を使用しないとベッドから落ちる事があります。特に就寝時は、ベッド柵を使用してください。

オーバーテーブルや床頭台はキャスター（車輪）がついています。
体重がかかると動き出し危険ですので、つかまらないようにしてください。

個人用の物品管理

- 補聴器・入れ歯等は紛失予防のため専用容器をお持ちください。
- パソコン・タブレット端末等のお持込みをされる時は、看護師へ伝えてください。
- 紛失や落下による破損には十分ご注意ください。

非常の際

- 火災、地震などで、避難が必要な場合は、医師、看護師、病院職員の誘導に従い、落ち着いて行動してください。
- 非常口の場所は、入院された時に、看護師が説明しますので、確めておいてください。
- 非常の際は、エレベーターが停止しますので、使用しないでください。

感染予防

新型コロナウイルス感染症対応として、マスクの着用、黙食へのご協力をお願いします。

手洗い／手指消毒

- 食事の前、トイレの後、検査や売店から戻ったときには手の消毒（手洗い）を行いましょう。ご家族の方も、面会時には手の消毒をお願いします。

※消毒液は、アルコールを含んでいますので、皮膚に異状がある時は、ご使用をお控えください。

咳エチケット

- 咳またはくしゃみが出る時は、ティッシュやハンカチで鼻や口を覆いましょう。または、できるだけマスクをつけましょう。
- 痰や鼻汁などは、ティッシュを使用し、使用後は最寄りのごみ箱に廃棄してください。
- 咳や痰などの汚染された物を触った後は、必ず石けんと水道水で手洗いを行いましょう。

持ち込み物品について

- 入院中の物品は床に直接置かないようにお願いします。荷物はロッカー等の中に収納できる範囲のもので、それ以外のものは持ち帰るようにお願いします。
  荷物を置かれると、ほこりがたまり、清掃が十分に出来ません。
- 生花の持ち込みをお断りしています。

面会について

P12 を参照してください。感染の流行状況に応じて面会を制限させて頂くことがありますので、ご理解とご協力をお願いします。

患者サポート体制

- 本院では、患者さんやご家族の皆様からのご相談に応じるサポート体制を整えています。
  相談をご希望の場合は、病院１階外来ホール【患者相談窓口】にお申し出ください。

	相談内容	担当部署	担当者	設置場所	開設時間
患者相談窓口	医療内容、医療安全等に関すること	医療安全管理部	看護師	病院1階 外来ホール 【患者相談窓口】	月～金曜日 8：30～17：15 ※祝日及び年末年始（12/29～1/3）を除く
	入退院・医療福祉に関すること	総合患者支援センター	看護師 医療ソーシャルワーカー		
	がん相談	がん相談支援センター	看護師 医療ソーシャルワーカー		
	患者申出療養	医事課 医事企画係	事務職員		
	診療記録の開示に関すること	医事課 診療情報管理支援室	事務職員		
	個人情報に関すること	医事課	事務職員		
	その他 （接遇、診療体制、サービス、アメニティ、保険の取扱、公費負担医療等）	相談の内容に合わせて、担当部署が対応します。			

郵便物及び宅配便等

- 郵便物及び宅配便の取扱いは次のとおりです。
  患者さん宛の郵便物又は宅配便などが届きましたら、各病棟のスタッフステーションから連絡をいたしますので、スタッフステーションでお受け取りください。
  ※休日の郵便物は、郵便局に留め置きとなり、本院には配達されません。郵便物の宛先には、病棟名と患者さんのお名前を記入するように、発送者へお伝えください。

意見箱(患者さんの声)設置

- 各階病棟の食堂及び病院 1 階外来ホールに意見箱を設置しております。
- 医療全般、施設設備、職員の対応に関することなど、広くご意見をお聞かせください。
- 入院中にお気づきの点がございましたら、率直な皆様の『声』をお寄せください。医療サービスの改善と向上に努めます。

退院の手続き

- 本院では「午前中退院」を基本としています。
  ※10：00～10：30 を目途に退室をお願いしています。ご協力をお願いします。
- 書類上の手続きは、職員がいたします。
- 退院日までの入院費は、病院1階外来ホールに設置の自動支払機又は支払窓口でお支払いください。
  ※時間外受付（月～金曜日の 17：15 以降、土・日・祝日等 24 時間）**(p20 参照)**
- 退院の際は、必ず、入院費の領収証書もしくは債務確認書の控を看護師に提示し、確認を受けてから退院してください。
- 病棟で保管している診察券・再来予約票・薬なども、忘れずにお受け取りになってから退院してください。
- ロッカーのカギ、セーフティボックスのカギ、体温計等は、看護師へお返しください。

退院後のこと

- 本院は、高度急性期を担当する病院ですので、治療により高度急性期を脱した後には、経過観察を行い、患者さんの状態に応じて可能な限り速やかに「急性期」「回復期」「慢性期」の病院を紹介させていただきます。

このような病院の機能分担につきましては、国の医療政策に基づいて各医療施設ごとに厚生労働省に届出がなされております。
皆様のお住まいの地域によっては、皆様が必要とする機能を有する病院が少なく、当院を退院した後の転院先、外来通院先の選定において、必ずしもご希望に添えない場合がございます。

何卒、ご理解とご協力をお願いいたします。

入院計算・各種料金・お支払い

大分大学医学部附属病院は、包括評価算定（DPC/PDPS）の対象病院です。
歯科・精神病棟を除いて、入院費は包括評価算定方法で計算することとなっております。
詳細についてお知りになりたい方は、入院受付へお申し付けください。

入院医療費 ＝

健康保険の定めによる料金
年齢等により1～3割が個人負担となります。

＋

食事の負担額 1食510円
選択メニュー 1食31円追加（税込）

＋

健康保険が効かないもの
病衣代、個室料金等

入院後、病状の経過や治療の内容によって診断群分類（病名）が変更になった場合には、請求額が変動することとなるため、月ごとの定期請求や退院時に前月までのお支払額と差額の調整を行うことがあります。
請求金額の連絡は、入院中は毎月１日より末日までの入院費を計算し、翌月の11日頃に、退院時は退院までに請求金額をお知らせいたします。
入院費の計算は、健康保険の定めにより、ホテル等の宿泊の計算とは異なり、午前０時を起点に日数計算をいたします。

限度額適用認定証の手続き

- 「限度額適用認定証」とは、窓口での支払いが高額になる場合に、自己負担額を所得に応じた限度額（自己負担限度額）にするために医療機関に提出する証類です。
  窓口での支払いを自己負担限度額までにとどめるためには、事前に健康保険証に記載されている「保険者」へ申請手続きを行い、発行された「限度額適用認定証」を入院手続の際にご提示ください。
- マイナンバーカードの保険証利用で「限度額適用認定証」の準備が不要になります。
  マイナンバーカードの保険証利用を希望される方は、入院手続の際に総合患者支援センター窓口にある「顔認証付きカードリーダー」で初期登録・本人確認を行ってください。

食事の負担額の減額

「減額認定証」をお持ちの方は入院手続き時に必ずご提示ください。

- 住民税非課税の世帯に属する方等で、標準負担額の減額認定を受けている場合は食事の負担額が減額されますので、「減額認定証」を入院手続き時に必ずご提示ください。
- 事前に提示がない場合は減額できない場合がありますのでご了承ください。

健康保険がきかないもの

- 全額をご負担いただきます。保険証を提示いただけない場合の医療費も同様です。

個室料金

- 有料個室への入室を希望される場合は、主治医または看護師へお伝えください。
- 有料個室に空室が無い場合は、２～４床室への入室となりますのでご了承願います。
- 個室料金は入退院の時間に関係なく、入院日・退院日をそれぞれ１日として計算されます。（例えば１泊２日の場合は２日分の室料となります。）

番号	タイプ		設置場所	病床数	面積	基本設備等	日額料金
1	特別室		新病棟５階 新病棟７階	２床	31㎡	電動ベッド、エアコン、浴室、トイレ、テレビ、ブルーレイ DVD、冷蔵庫、洗面台、食器戸棚、電子レンジ、台所、FAX 付電話、ロッカー、４人掛応接セット、執務机・椅子、床頭台（テレビ・冷蔵庫付）、湯わかしポット	16,500 円
2	特別室		新病棟３階	１床	28㎡	電動ベッド、エアコン、浴室、トイレ、テレビ、ブルーレイ DVD、冷蔵庫、洗面台、食器戸棚、電子レンジ、台所、FAX 付電話、ロッカー、４人掛応接セット、執務机・椅子、床頭台（テレビ・冷蔵庫付）、湯わかしポット	16,500 円
3	新病棟 個室		新病棟 ２～７階	23 床	16～ 18㎡	電動ベッド、エアコン、浴室（シャワー）、トイレ、冷蔵庫、洗面台、床頭台（テレビ・ロッカー）	7,700 円
4	新病棟 個室		新病棟４階 ※産婦人科用	４床	16～ 18㎡	電動ベッド、エアコン、浴室（シャワー）、トイレ、冷蔵庫、洗面台、床頭台（テレビ・ロッカー）、授乳チェア、ワゴン式戸棚	7,810 円
5	東病棟 個室		東病棟 ２～７階	33 床	10～ 11㎡	電動ベッド、エアコン、洗面台、トイレ、床頭台（テレビ・冷蔵庫・ロッカー）	5,720 円
6	西病棟 個室		西病棟 ２～７階	12 床	10～ 11㎡	電動ベッド、エアコン、洗面台、トイレ、床頭台（テレビ・冷蔵庫・ロッカー）	5,720 円
7	準個室		新病棟７階	４床		電動ベッド、エアコン、テレビ、冷蔵庫、間仕切り家具（ロッカー・鏡・折り畳みデスク・収納棚・照明〔廊下側のみ〕）、椅子、間仕切り用カーテン	窓　側 1,870 円 廊下側 1,650 円
8	準個室		新病棟６階	４床		電動ベッド、エアコン、テレビ、冷蔵庫、間仕切り家具（ロッカー・鏡・収納棚・照明〔廊下側のみ〕）、椅子、間仕切り用カーテン	窓　側 1,870 円 廊下側 1,650 円
9	準個室		新病棟４階 ※産婦人科用	４床		電動ベッド、エアコン、テレビ、冷蔵庫、間仕切り家具（ロッカー・鏡・収納棚・照明〔廊下側のみ〕）、椅子、間仕切り用カーテン	窓　側 1,870 円 廊下側 1,650 円

保険適用外料金について

● 分べん介助料（非課税）	22週以降	1児につき	170,000円
	22週未満	1児につき	140,000円
	（多児の場合）	1児増すごとに	70,000円
	分べん終了時刻が診療時間外の場合	上記の額にそれぞれ 100分の20相当額を加算	
● 新生児介補料（生後28日未満の者）		1日につき	3,992円
● 新生児聴力スクリーニング料		1回につき	6,700円
● 先天性代謝異常検査のための採血料		1回につき	3,080円
● ライソゾーム病スクリーニング検査		1回につき	6,600円
● 診療録等複写料（電子式複写）		1枚につき	22円
● 先進医療等			諸料金規定に 定める料金による
● 歯科領域の諸料金			
● エンゼルケア料（エンゼルセット含む）			6,831円

※上記料金の詳細や上記以外の保険適用外料金については、患者相談窓口にお問い合わせください。

診断書・証明書

- 診断書・証明書が必要な方は、病院1階の診断書受付（取扱時間平日 8：30～17：00 まで）に伝えてください。
- 本人以外の方がお申し出される場合は委任状等が必要になりますので、窓口にてお問い合わせください。
- 入院中に、上記窓口まで来られるのが難しい方は病棟職員に声をかけてください。
- 入院中に転科するなどして、複数の診療科へ入院された方の書類につきましては、診療科ごとの申込みになります。（料金は診療科ごとにかかります。）

※診断書の作成には、申込後2～3週間お時間をいただきますので予めご了承願います。

診断書料金について

● 文書料	診断書料（本院所定）	1通につき	2,200円
	特殊診断書料（本院所定以外）	1通につき	5,500円
	死亡診断書料	1通につき	3,300円
	証明書料（本院所定）	1通につき	2,200円
	特殊証明書料（本院所定以外）	1通につき	5,500円

入院費・各種料金のお支払い

入院費について、ご相談又はご不明な点がありましたら、お支払いになる前に、病院１階外来ホールの**入院受付**でお尋ねください。
入院費の計算については、正確を期していますが、投薬･検査等の追加により、退院された後に、追加請求をする場合がありますのでご了承ください。

入院費の請求

入院中の患者さんには、月ごとに月末までの分を計算し、翌月の10日以降に「入院費定期納付分内訳書」をお届けします。
退院される患者さんには、退院時に「退院会計のお知らせ」をお届けします。
なお、**退院時に料金が確定しない患者さん**（正確な診療費の精算を期すため、限度額認定証申請中、健康保険証未提出、更生医療、育成医療、養育医療、小児慢性、特定疾病療養受療証等の公費保険手続き中、交通事故、労災等の保険使用未確定、移植、治験、緊急退院等の場合は、料金計算は行いません）には、「退院会計について」をお届けします。支払窓口又は時間外診療受付・支払窓口にて後日支払の手続きをお願いします。

病院１階外来ホールにあります自動支払機又は支払窓口でお支払いください。
お支払いの取扱い時間は次のとおりです。

支払場所	支払方法	時　間　帯
自動支払機	現　金	月曜日～金曜日 9:00～17:15
	クレジットカード デビットカード	全日（24時間）
支 払 窓 口	現　金 クレジットカード デビットカード	月曜日～金曜日 8:30～17:15
時間外診療受付 ・支払窓口	現　金 クレジットカード デビットカード	月曜日～金曜日 17:15以降 土日祝日等（24時間）

●以下のクレジットカード及び各種銀行のキャッシュカードで、お支払いができます。

※平日の10:00～13:00のお支払いは、外来患者さんで混み合っていますので、他の時間帯でのお支払いをお勧めします。

領収証書

高額医療費の払い戻し、所得税の医療費控除などに必要ですので、大切に保管してください。
領収証書の再発行はできません。紛失された場合、有料となりますが、領収証明書の発行ができますので、診断書受付（病院１階外来ホール）へお申し出ください。

診療明細書

診療費の領収書を交付する際、原則として、全ての患者さん（交付を希望しない場合を除く）へ個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書を交付することが義務付けられています。本院においても、支払窓口及び自動支払機で、明細書を交付しております。

- 「診療明細書」は、発行を希望しない方を除き、領収証書とともに発行します。
- 「診療明細書」には、薬剤の名称や行った手術、処置、検査の名称とその点数などが記載されています。（病名は入っていません）
- 診療明細書には、使用した薬剤の名称や行われた検査の名称が記載されるものですので、その点、ご理解いただき、ご家族の方が代理で会計を行う場合のその代理の方への発行も含めて、診療明細書の発行を希望されない方は、支払窓口にてその旨お尋ねください。
- 「診療明細書」は、患者さんの個人情報やプライバシーにも関わるため、紛失しないようお気をつけください。

※お支払い方法についてのご相談は支払窓口又は医事課収納係（☎097-586-5441）へご連絡ください。

病棟設備

非常口

- 入院時必ず確認をしてください。
- 非常時は、医師、看護師、病院職員の誘導に従ってください。

エレベーター

- 中央廊下及び新病棟にあります。
- 歩ける方は一般用をご利用ください。

家族待機室

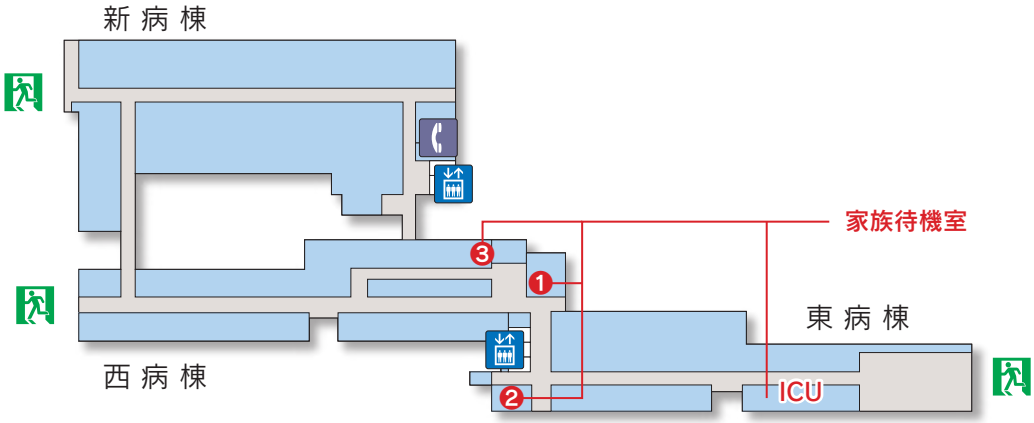
- ３階にご家族用待機室があります。（家族待機室1･2･3、ＩＣＵ待機室）案内図をご参照ください。
- 待機室のご利用については、病棟看護師が説明します。

公衆電話

- 各階に１ヶ所設置しています。
- 消灯後の使用は、話し声が廊下にひびきますのでご遠慮ください。

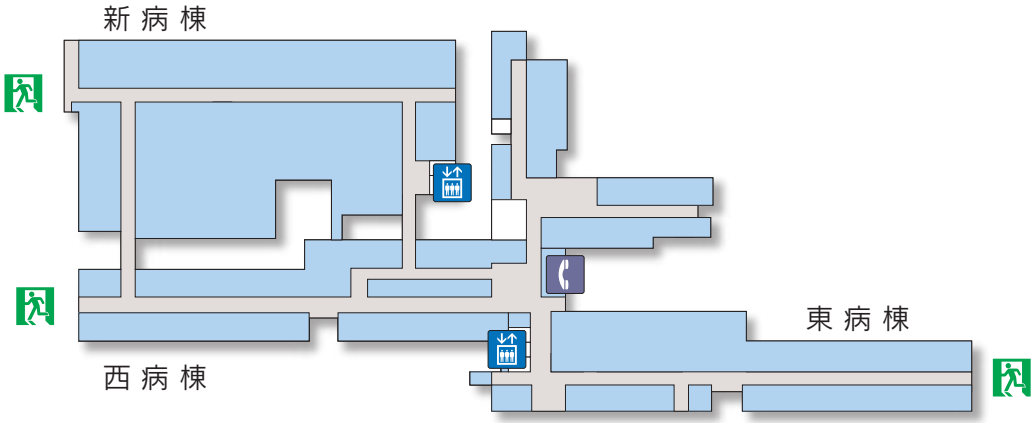
案内図

3F



2F～7F

（3Fを除く）



食堂と面会室

- 病状に応じて、活動を許可されている方は食堂で食事をしていただきます。
- 食堂は面会室もかねています。面会時は連絡の必要が生じる場合がありますので、入院病棟の食堂をご利用ください。
- お湯が必要な方は、給湯器をご利用ください。熱いのでご注意ください。
- 各病棟の食堂には自動販売機を設置しています。
- 電子レンジは食堂の開いている時間に、ご自由にご利用ください。
- 病棟内のゴミは、それぞれ区分されたゴミ箱に入れてください。
  カン・瓶・プラスチック類・生ゴミは、食堂と洗面所の所定の容器に分別して廃棄してください。
- 病室内のゴミ箱のゴミは、毎日清掃業者が回収します。

浴　室

- 病棟の定められた時間内で順番に入浴してください。
- 浴室は滑りやすいところです。入浴時は転倒にご注意ください。
- 入浴中は安全確認のため、中から鍵をかけないでください。
- ヒートショックに気をつけましょう。

《ヒートショック予防の６つのポイント》

①食後すぐの入浴は避けましょう。
②脱衣所が寒い時は、暖まるまで待ちましょう。
③服を脱ぐ前に、お湯をためましょう。
④お湯の温度は、41度以下にしましょう。
⑤浴槽に入る前にお湯を止めましょう。
⑥浴槽につかる時間は、10分以内にしましょう。

「ヒートショック」とは、
暖かい部屋から寒い部屋への移動など温度の急な変化が体に与えるショックのことです。血圧が変動することが入浴事故の要因の一つと言われています。

※入浴中、気分が悪くなった場合は、すぐに呼び出しボタンでお知らせください。
※安全確認のため、入浴中ドア越しに声を掛けさせていただくことがあります。

病衣・寝具

- 病衣をご利用の方は、７月～９月は週３回。それ以外は週２回決められた曜日に配布します。
  病衣代は１日84円かかります。
- 使用後の病衣は、所定の場所に入れてください。
- 寝具は週１回、決められた曜日に交換します。

冷蔵庫

- 冷蔵庫を使用する場合はテレビカード挿入口近くの有料ボタンを押してください。
  ※連続使用の場合最大30日分の設定が可能となります。（有料ボタンを押した数は連続使用日数となります。）
- 利用料金は100円／日です。

テレビ

- テレビは各階に設置している券売機でカードを購入してご利用ください。
  ※カードは１枚1,000円です。
- カードをテレビ下にあるタイマーに挿入し電源ボタンを押してください。
- １日最大 300円以上の課金はありません。
- 退院の際にカードを使いきっていない場合は１階外来ホールの精算機で精算できます。
- テレビ視聴の際はイヤホンをご使用ください。

患者用Wi-Fi

- 入院患者さんは、病棟で Wi-Fi がご利用いただけます。
- 本院のWi-Fiはネットワークのセキュリティのため、利用できるサービスを主にホームページ閲覧、動画閲覧としています。通信アプリや通信ゲームは一部制限されるものがありますのでご了承ください。
- Free Wi-Fiではありませんので利用するには設定が必要です。また、設定しても機種等によっては接続できない場合がありますのでご了承ください。
- 利用を希望する方は、入院受付または病棟スタッフステーションでお申し込みください。

洗濯室

- コインランドリーは洗濯機：200円／回　40分程度、乾燥機：100円／回　30分程度、が必要です。洗剤は各自でご用意ください。
- 使用方法は洗濯機に記載されております。使用時間は 7：00～20：00 です。
- 早朝及び消灯後に使用されますと、他の患者さんのご迷惑になりますのでご遠慮ください。
- 乾燥機は終了後、フィルターのゴミをとり除いてください。（乾燥不良の原因になります）

スタッフステーション

- スタッフが常時勤務しておりますので、ご不明な点やご用の際はお気軽に声をかけてください。
- 外部からの電話は、業務に支障をきたすため、緊急時以外はお取り次ぎいたしておりません。
  ご用件のある場合は、折り返しお電話するようにお伝えいたします。

病棟以外の施設

施　設	内　　容	利用時間
総合患者支援センター	入院・退院手続き、入院費用はこちらで取り扱っています。 また、入院費などで、ご不明な点もこちらで伺います。 入退院や福祉関係についてのご相談は、こちらをご利用ください。	平日　8時30分～17時15分
患者相談窓口	医療・福祉に関する相談や諸手続についての業務を行っていますのでご利用ください。	平日　8時30分～17時15分
患者図書室	当院に入院されている患者さん（1人3冊まで） 当院に通院されている患者さん（室内で閲覧のみ） 患者さんのご家族（室内で閲覧のみ）	平日　9時30分～12時 13時～15時30分
時間外受付	休日や平日の時間外の受診手続きを行っています。	平日　17時15分 ～翌日8時30分 土日祝日は終日
守衛室	休日・平日の時間外の患者案内・お見舞い案内・警備を行っています。	平日　17時15分 ～翌日8時30分 土日祝日は終日
簡易郵便局	キャッシュカードも利用できます。 カード利用で入出金はできますが、振込みはできません。 退院時のお手回り品はゆうパックが便利です。 簡易保険の入院証明書（診断書）も備えています。	平日　9時～16時 TEL 097-549-3370
ATM	2階売店前に設置しています。 提携金融機関についても取扱い可能です。 ※手数料が発生する場合があります。	平日　9時～19時 土日祝日 9時～17時
美容室	パーマ、カット、毛染めができます。 医療用ウィッグも扱っています。	平日　9時～18時 祝日　9時～18時 土・日は休み
レストラン	売店の隣にあります。 手術待機時、お弁当の持ち込みもできます。お気軽にご利用ください。	平日　8時～20時 土日祝日 10時～17時
売店	入院中に必要な日用品等。 一部（楽飲み、T字帯など）自動販売機で購入できるものもあります。 付き添いベッドの貸し出しもしています。 平日の8時30分～15時迄に手続きをしてください。	平日　8時30分～17時 土日祝日
コンビニエンスストア	年中無休で営業時間は7時～22時です。 新聞販売しています。ATMもあります。 コンビニエンスストアの横にイートインスペースがあります。	7時～22時
コーヒーショップ	Wi-Fi 使用できます。	平日　7時～19時30分 土日祝日 10時～18時30分

〈その他〉　コピー、ファックスをご利用の方は2階のコンビニエンスストアでできます。P26のフロアマップを参照してください。病院周辺の宿泊施設については、患者相談窓口にお声かけください。

がん相談支援センターのご案内

看護師や医療ソーシャルワーカーが対応いたします。がんに関する質問や相談・不安な気持ちなどお気軽にご相談ください。

ご相談できる内容

- がんの検査や治療について
- がんの症状・副作用について
- セカンドオピニオンについて
- ホスピス・緩和ケアについて
- 日常生活の困りごとについて
- 社会保障制度・医療費について
- 医療者・家族・職場の人間関係について
- 患者会について
- 就労・就学・復職に関することについて

出張ハローワークについて

- 毎月第２、第４水曜日　13 時～16 時（要予約）
  就職支援ナビゲーターが仕事に関する相談を受けています。
  予約はがん相談支援センターにご連絡ください。

ピアサロン和希愛会

- 毎月第１金曜日 14時30分から16時まで開催しています。
  がん患者さんやご家族の交流会です。
  どうぞお気軽にご参加ください。（参加費、申し込みは不要）

相談窓口

- がん相談支援センターの受付（病院 1 階外来ホール　患者相談窓口）
  対応時間　8：30～17：15（土・日・祝日は休み）
  電話番号　097-586-6376

施設の紹介

フロアマップ FloorMap

病棟案内表

西病棟		新病棟		東病棟
消化器内科	7F	消化器外科	7F	血液内科 腫瘍内科
脳神経内科	6F	呼吸器・感染症内科 皮膚科 形成外科	6F	内分泌・糖尿病内科 腎臓内科 膠原病内科 総合内科・総合診療科
	5F	耳鼻咽喉科・頭頸部外科 歯科口腔外科 形成外科	5F	腎臓外科・泌尿器科 麻酔科 皮膚科
産科婦人科 乳腺外科	4F	産科婦人科 NICU　GCU 周産母子センター	4F	小児科 小児外科
循環器内科 CCU	3F	心臓血管外科 循環器内科 呼吸器外科 乳腺外科 放射線科	3F	家族待機室 血液浄化センター
	2F	整形外科 脳神経外科 リハビリテーション部 腫瘍センター 緩和ケア	2F	脳神経外科 眼科
看護部 臨床栄養管理室	1F		1F	内視鏡診療部 外来化学療法室 薬剤部

高度救命救急センター

中央診療棟

集中治療部
手術部

北病棟

精神科

★ 避難場所位置

病院敷地外に出られる場合は、医師による外泊・外出許可証が必要です。なお、通行車には十分ご注意ください。

大分大学医学部附属病院

〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地

☎097-549-4411㈹

2025. 05